

2026 年 7 月 23 日

株式会社 CAICA DIGITAL
代表取締役社長 鈴木 伸
(コード番号 : 2315 東証スタンダード)
問合せ先 :
代表取締役副社長 山口 健治
TEL 03-5657-3000 (代表)

数千台規模で採用決定！ネクスのテレマティクス端末で物流 DX を実現！

～大手物流関連事業者の大規模運行支援サービスに採用、全国展開に伴いさらなる需要拡大へ～

本日、当社子会社である株式会社ネクス（本社：岩手県花巻市、代表取締役社長：大内 英史）が、下記プレスリリースを行いましたので、お知らせいたします。

（添付）

別紙

「数千台規模で採用決定！ネクスのテレマティクス端末で物流 DX を実現！～大手物流関連事業者の大規模運行支援サービスに採用、全国展開に伴いさらなる需要拡大へ～」

（2026 年 7 月 23 日付の株式会社ネクスのプレスリリース）

以 上

本件に関するお問い合わせ

株式会社ネクス

営業部 TEL : 03-5766-9872

Mail: sales@ncxx.co.jp

2026 年 7 月 23 日

株式会社ネクス

数千台規模で採用決定！ネクスのテレマティクス端末で物流 DX を実現！

～大手物流関連事業者の大規模運行支援サービスに採用、全国展開に伴いさらなる需要拡大へ～



株式会社ネクス（以下、当社）は、このたび物流関連事業者が提供する運送事業者向け安全運行支援サービスにおいて、当社のテレマティクス端末「GX700NC」が採用されたことをお知らせいたします。

本案件は、大規模な車両運用への展開を前提としたプロジェクトであり、安全管理や運行業務のデジタル化を支える車載通信端末として、当社製品が採用されました。今後のサービス展開に伴い、継続的な端末需要を見込んでおります。

当社のテレマティクス端末は、車両情報や運行データの収集・通信を担うエッジデバイスとして、安定した通信性能、高い信頼性、車載環境への適合性を備えています。これらの特長が評価され、本案件への採用に至りました。

近年、物流業界では 2024 年問題への対応やドライバー不足、法令遵守の強化を背景に、安全運行支援や運行管理システムへの投資が加速しています。車両データを活用したデジタル化ニーズは今後も拡大が見込まれ、テレマティクス市場は中長期的な成長が期待されています。

当社は、通信機器メーカーとして培ってきた無線通信技術を活かし、物流・モビリティ・建設・保守サービスなど幅広い分野において、IoT・テレマティクスソリューションの展開を加速してまいります。また、通信端末の提供に加え、クラウドサービスや遠隔管理サービスとの連携を強化し、お客様の運行管理や車両管理を支援するソリューションの提供を進め、IoT・テレマティクス技術を通じて物流業界の安全性向上と業務効率化に貢献してまいります。

OBD II *1 テレマティクスデータ端末「GX700NC」



基本項目

- アクセル・ブレーキスイッチ含む 12 項目のデータが取得可能
- 1,600 車種に対応(*2 を除いた場合)

拡張項目

- VIN, DTC, ABS など、28 種類のデータを追加可能

基本項目	
瞬間燃費	積算距離
燃料噴射量	積算燃料
車速	バッテリー電圧
エンジン回転数	加速度センサ
エンジン冷却水温	GPS
アクセル開度*2	ブレーキスイッチ*2

製品ページ : <https://www.ncxx.co.jp/product/gx700nc/feature/>

*1 OBD II とは、オン・ボード・ダイアグノーシスの略で、車両に搭載されたコンピュータがおこなう自己故障診断システム用のコネクタ規格のバージョンアップ版で、車両故障診断情報の他、車速、エンジン回転数などの情報が取得可能。

*2 対応 1600 車種でも取得できない車種があります。